

節分には京都のあちこちの寺社でも多くの行事が行われていました。今日はその話です。

例年、八坂神社では甘酒がふるまわれていました。節分祭には祇園や先斗町の舞妓さんたちが来て舞を奉納していました。

吉田神社の節分祭も有名で、いつもは三日間行われて、参道にはたくさんの方が出て、すごいにぎわいだっただです。

壬生寺では午後から壬生狂言といわれる伝統芸能を無料で見学することができました。演目の中に「炮烙（素焼きの大きなお皿）割り」のはいるものもあり、おもしろかったです。その炮烙はみんなが厄除けのために数え年を墨で書いて奉納したものののですが、落としてばんばん割ることによって厄が落ちていくということなのでした。

下鴨神社の節分祭では平安時代の衣装を着た人は弓をひいて矢を放つ、古式ゆかしい行事「追儼弓神事」が行われました。

平安神宮の節分祭の中の大儼之儀も平安時代のままの行事を再現したものでした。

松尾大社では拝殿で石見神樂が奉納されていました。

日向大神宮では天の岩戸が境内にあるのですが、これを節分の日にくりぬける「ぬけまいり」と言うのも人気でした。ぬけたら厄が落ちるとされていました。

天龍寺では甘酒・樽酒の無料接待がありました。他にも恒例行事をする寺社が多かったのですが、今年はコロナの影響で自粛するところが多いです。しかたがないので家で豆まきしてコロナ収束をいのりしましょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② ぜんぶでいくつの寺社がとりあげられていますか？

③ いつもは舞妓さんはどこの神社で見られますか？

④ 炮烙とはなんですか？

⑤ なぜ炮烙は割られるのですか？

⑥ 平安神宮で再現される行事はもともどのようなものですか？

⑦ 節分祭が自粛される場合が多いのはなぜ？

⑧ 最近にせの舞妓さんが多いわけを考えましょう？

（ ） 本物がいそがしく、かわりをたのむから
（ ） 舞妓さんの出番がふえたから

（ ） 貸衣装の店がふえて観光客が変身するから
⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） ぬけまいりは松尾大社で行う。

（ ） 昔の人は厄をとてもしやがっていた。

（ ） 壬生寺では石見神樂が演じられる。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

